

ふるさと歴史散歩 227

～松前史談会レポート～

JR 北伊予駅界隈えとこめぐり II

禪正軒庵を出発し東公民館を左に見て、神崎、鶴吉の鎮守の森で、外敵・災難から守る神を祭っている伊予神社へ向かう。

正面の石橋を渡ると参道があり、石畳の中央線が立春と立秋の「日の出」の方向を指しているとのこと。参道を進むと拝殿があり、正面の屋根には千鳥破風と大唐破風とが備わる珍しい二重の破風がある。眺めているだけでも飽きない素晴らしい建築技術である。明治29(1896)年の建築で、棟梁は「伊予の左甚五郎」と呼ばれた川中夏吉(南伊予村下三谷出身)である。宮大工であった兄に学び、その後京都・奈良で修行を積み、腕を磨いたという。

また、江戸後期から大正までの130年間にわたり活躍した長州大工(周防大島からの出稼ぎ大工)として愛媛県に名を残した門井兄弟の弟、門井友祐の彫刻がある。梁上の「喰合獅子」と「巢籠鷹」は、これぞ彫刻師匠巻の出来栄である。門井友祐の彫刻は他にも永田三島神社(伊予市中山)や朝日八幡神社(松山市南江戸)にあるので興味ある人は訪れてみては。

立派な御神木(クスノキ)が拝殿のすぐ左にある。その奥には、やや地面が低い林が少し広がっている。以前ここは霊泉といわれ、池のように水がたまっていたが、今は枯れて昔の面影はない。この近くに霊泉小学校(明治19年創立・神崎尋常小学校の前身)があった。次号に続く(宮内 祐記)



- 1 伊予神社拝殿 手前が大唐破風、上が千鳥破風。遠目では千鳥破風のラインから隅棟にきれいな曲線が見え、軒の出や反りと柱の長さが間延びせず、ずんぐりせず、絶妙に形を作っている。近づくにつれ千鳥破風が隠れ、大唐破風が口を開けるように見え、参拝者は包み込まれるように感じる 【引用】峰岡秀和「松前史談」第36号
- 2 伊予神社参道 伊予神社の主祭神は、予章記によれば孝霊天皇の皇子彦狭島命である。伊予を統治するため派遣され、この地で崩御した。江戸期の伊予郡絵図では「親王宮」となっている

4月13日(日)の歴史散歩は、天長寺ほか横田地域を訪ねます。8時30分に松前庁舎南駐車場を出発。交通費500円必要。お申し込みは麻生まで。

松前史談会(麻生) ☎ 090-4472-8136

- 【開館時間】 9時～22時 【休館日】 12月28日～1月4日
- ◆東公民館 神崎 210 ☎ 984-1159 FAX 984-1457
 - ◆西公民館 北黒田 966-2 ☎ 984-5313 FAX 984-5313
 - ◆北公民館 昌農内 456-1 ☎ 984-7529 FAX 984-9398

12月8日、放課後子ども教室で「はんぎり講習会」を開催し、岡田小学校の児童27人が参加しました。講師は北公民館の横山館長が務め、はんぎりのルール、まさき町夏祭りで開催されるはんぎり競漕のことなどを説明しました。岡田小学校の児童が競漕している映像が流れると、参加者は、「あ、〇〇くんだ!」と、身を乗り出して興味津々でした。次は、いよいよ体験の時間。ミニプールに、はんぎりを浮かべてドキドキしながら順番に乗り込む子どもたち。水しぶきを立て、はんぎりから落ちないように恐る恐る前へ前へ。たくさんの笑顔があふれる楽しい時間になりました。皆さんも5年生になったら、夏祭りのはんぎり競漕に挑戦してみてくださいね。

community learning center 公民館 だより

北公民館 毎月順番に活動内容をお届け! 放課後子ども教室



①館長の説明を聞く子どもたち
②公民館の前にプールを準備して、はんぎり体験

Let's Enjoy Books

ふるさと ライブラリー

◆開館時間 9時30分～19時
◆問い合わせ ☎ 985-4140 FAX 985-1386
<https://www.i-masaki.jp/library/>
◆4月の休館 30日(火)

おはなし会
20日(土)
11時～
文化センター
2階ふるさと学習室

◆新着本 紹介

毎週新しい本を入荷し、随時、新着本コーナーに展示しています。貸し出し状況、予約状況はお問い合わせください。

▶有罪、とAIは告げた
中山七里・著
小学館

東京地裁の新人裁判官である円は、「AI裁判官」を検証するという任務を受ける。裁判官の判決文と遜色ないAIの判決に周囲は好意的だが、ある日18歳の少年が起こした事件に、AIは「死刑」と判決を下す—

▶体に効くコーヒー
ブティック社

ダイエット、がんや認知症など、さまざまな病気や症状に対して確認された効果を解説。体に良くておいしいコーヒーの入れ方や、健康効果がアップするアレンジコーヒーの種類や作り方も紹介

▶君を守ろうとする猫の話
夏川草介・著
小学館

13歳のナナミは、ぜんそくの持病のため放課後は図書館で一人過ごしている。その図書館で最近本がなくなっているらしい。館内の探索を始めたナナミは館内の青白く輝く棚の前で翡翠色の目をした猫と出会う

▶美食の街を訪ねてスペイン&フランスバスケットへ
金粟里香・著
イカロス出版

おいしいものに目がない人なら一度は訪れたいあこがれの地バスケット。スペインとフランスにまたがる、この地方独自の美食文化を徹底ガイド。各地のMAPや伝統菓子の紹介など、旅行前にぜひ読みたい1冊

▶アフガンの息子たち
エーリン・ペーション・著
小学館

難民児童と施設職員の交流を描いた物語。たった一人で祖国から逃れてきた10代の少年たちとの交流の中で、施設職員としての「公の自分」と彼らを助けたい「一人の自分」とのはざままで葛藤する姿を描く

▶友だちがしんどいなくなる本
石田光規・著
講談社

友だちのことは好きだけど一緒にいるとしんどい、返信が遅くならないようにチェックしてしまおう。こうした「しんどさ」は今の社会が友だちづくりを強いる構造になっているせい。人間関係にしんどさを感じたときにおすすめ

4月23日(日)～5月30日(木) こどもの読書週間

- ◆読書でピンゴ
ピンゴカードに書かれた本を読んで、ピンゴを目指そう! 2ピンゴ達成でしおりを、全て埋めると賞状をプレゼント。ピンゴカードはカウンターで配布します。
- ◆本の福袋
今年の福袋は「テーマ福袋」。「乗り物」や「パン」など、さまざまなテーマの福袋をご用意しています。何が入っているのかは、借りてみてのお楽しみ♪
- ▶対象 未就園児(0～3歳)向け
※ なくなり次第終了(限定20袋)です。
※ 誰でも借りられます。